

地域の子どもを犯罪から守ります！

くにさきっ子見守り隊結成 国東町商工会青年部

国東町商工会青年部（長峰公視部長・60人）は、日ごろの営業活動中に巡回パトロールを行い、子ども達を犯罪から守る「地域防犯ネットワーク『くにさきっ子見守り隊』」を結成し、10月18日(水)から活動を開始しました。

大分県地域活力増進事業の補助を受けて、ポスターと車に貼り付けるマグネットシートを準備。ポスターは、部員の各店舗や公共施設に貼り、マグネットシートは部員の業務車両に貼り付けて防犯活動を行います。

18日午後3時からアストくにさき前広場で行われた出発式で、長峰部長が「子ども達が被害者となる

事件、事故が全国で多発していますが、国東で育つ子ども達が、放課後や休日に安心・安全で元気に育っていけるように、子ども達を見守っていきます。」とあいさつ。式終了後、参加者全員で「くにさきっ子見守り隊」のマグネットシートを貼った車でパトロールに出発する青年部員を見送りました。



▲部員の車にマグネットシートを貼り、子どもたちを見守ります



▲あいさつする長峰部長

◀出発式には青年部員・商工会関係者や国東小学校の児童ら約70名が参加

子どもたちのために役立てて

建設業協会国東支部青年部会が寄付

社団法人大分県建設業協会国東支部青年部会（山口正廣部会長）の代表が、「小学生の防犯のために役立ててください。」と吉井孝光教育長に10万円を手渡しました。吉井教育長は「ありがとうございます。防犯グッズの購入に充てます。」とお礼を述べました。



▲吉井教育長に手渡す、青年部会代表の田口幸人さん(写真中央)、猪俣雅敏さん(左)(9月27日(水)・教育長室)

生きる力を育てよう！

小学生が「通学合宿」(武蔵)

子ども達が公民館に泊まって共同生活しながら学校に通う「通学合宿」が10月15日(日)から20日(金)までの6日間、武蔵中央公民館で行なわれました。日ごろ体験できにくい異年齢の仲間たちと通学合宿を通して自主性や協調性を培い、子ども達の生きる力を養うとともに、家庭や地域社会の大切さを学ぶことを目的に、武蔵町では平成13年から毎年実施しています。

通学合宿には、武蔵東小学校4・5・6年の21名が参加。支援委員会や地域のボランティアの皆さんの指導を受けながら、全員で協力して炊事などに取り組みました。



▲6日間の共同生活を終え、感想を発表する参加者